

平成 30 年 10 月 12 日

各 位



会 社 名 株式会社 シベール



代表者名 代表取締役社長 黒 木 誠 司

(J A S D A Q ・ 証 券 コード 2 2 2 8)

問合せ先 取 締 役 横 戸 繁 春

電 話 0 2 3 - 6 8 9 - 1 1 3 1 (代表)

特別損失(減損損失)の計上及び

平成 30 年 8 月期 通期業績予想との差異並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 8 月期第 4 四半期において特別損失を計上することと致しました。また、平成 30 年 6 月 29 日に公表した平成 30 年 8 月期(平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)の通期業績の予想値と本日公表の実績値において差異が生じました。これらの状況を踏まえ、経営責任を明確にするため役員報酬を減額しております。内容につきまして、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上について

当社は、本日開催の取締役会において、当社が保有する固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、一部店舗において 76 百万円を減損損失として、当期第 4 四半期会計期間において計上することと致しました。

2. 業績予想数値と決算における実績値との差異について

(1)平成 30 年 8 月期(平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,759	△119	△107	△159	△110.67
実 績 値 (B)	2,670	△178	△163	△301	△209.72
増 減 額 (B-A)	△88	△58	△56	△142	—
増 減 率 (%)	△3.2	△49.0	△52.0	△89.5	—
(参考) 前期実績	3,061	△120	△117	△389	△270.85

(2)差異の理由

売上高につきましては、お中元商戦での回復に努めましたが、店舗販売及び通信販売(外商を含む)ともに計画を大きく下回りました。外商の販路開拓も成約まで時間を要し伸び悩みました。特に、全社的に主力のラスクの不振が大きく影響しました。

利益面につきましては、営業利益及び経常利益におきまして、減収の影響から赤字幅が

拡大しました。当期純利益におきましては、前述の通り減損損失として 76 百万を計上することとしたこと、及び通期の業績を踏まえ、繰延税金資産の一部 11 百万円を取崩したこと等により赤字幅が拡大し、前回予想を大幅に下回る結果となりました。

3. 役員報酬の減額について

三期連続の営業赤字かつ最終赤字が多額になることを受けて、その経営責任を明確にするため、役員全員の報酬を平成 30 年 7 月分から引下げました。この度の引下げ幅は、平均 16%と致しました。

以上